

校歌・校章の検討について

1 校歌・校章の選定について

(1) 決定までの流れ

校歌・校章については、市が決定するものではないため、多くは学校や保護者、地域の意見により決定されています。

校歌・校章とも、作成にあたっては、ある程度の専門性が必要であることから、次のような方法で案が募られています。また、選定の際には、類似の作品がないか等の留意が必要となります。

校歌の作詞・作曲方法（公募・特定者依頼）におけるメリット・デメリット

方 法	メリット	デメリット
公 募	・多くの人が校歌の作成に関与できる	・満足できる作品の応募があるか不明 （結果として、校歌としてふさわしい作品が応募されない可能性もある） ・校歌の募集・選考に時間、費用が必要 ・校歌の選考方法等の検討が必要（基準等） ・応募資格を限定すると、応募が少なくなる 限定しない場合、竹野をイメージしづらい作品が増える可能性がある
特定の制作者を選定し依頼	・作品の質が期待できる ・作詞にかかる時間、労力が省ける ・竹野にゆかりのある方の作品であればより愛着が深まる	・校歌の作成に関与する人が限定的となる ・多くの費用が必要 ・作品に対する意見（修正）が出しづらい
教職員など関係者を中心に作成	・開設準備委員会の意見（修正を含む）を反映しやすい。 ・高額な費用は不要である。	・校歌の作成に関与する人が限定的となる ・適任者がいるかどうか不明

※校歌の作詞依頼（公募）の際、盛り込むフレーズ等を指定している例もある

- ・全く新しい校歌を作成してよいか。
- ・小学校、中学校の校歌をそのまま引き継いでいる例もある。（歌詞やメロディを変更する場合は作詞、作曲者またはその親族に了解が必要）

三 城山の峰にまたたく金星に 久遠の理想 かがやきて 平和日本の 栄えあり いざや求めん いざ友よ	二 若人の血汐みなぎる 学園に 真理のひかり さしそえば 新生日本の 花は咲く いざや手折らん いざ友よ	一 海山のめぐみ豊けき わが里に 文化の誇り 培いて れいめい日本の いでたちに いざやおくれじ いざ友よ	竹野中学校 校歌	二 のぞむに海の さとしあり 仰ぐに山の しめしあり 遊びてきたえ 身をつよく 学びてはげめ ひとのみち	一 竹野の小川 ゆるやかに 海にそそげば 波ゆれて 賀嶋山かげ ただよわす 浜のけしきの うるわしき	竹野小学校 校歌
---	--	---	----------	--	--	----------

校章のデザイン（公募・特定者依頼）におけるメリット・デメリット

方法	メリット	デメリット
公募	<ul style="list-style-type: none"> 幅広いアイデアが募集できる 	<ul style="list-style-type: none"> 満足できる作品の応募があるか不明 募集・選考にかかる時間、費用が必要 応募資格を限定すると、応募が少なくなる 限定しない場合、竹野をイメージしづらい作品が増える可能性がある
特定の制作者を選定し依頼	<ul style="list-style-type: none"> 作品の質に期待ができる 竹野にゆかりのある方の作品であればより愛着が深まる 	<ul style="list-style-type: none"> たくさんの方が作成に関与できない 多くの費用が必要

【参考】

<p>竹野中学校 校章</p> 	<p>竹野小学校 校章</p> 
<p>旧竹野南小学校 校章</p> 	<p>旧中竹野小学校 校章</p> 
<p>旧森本中学校 校章</p> 	<p>竹野町章</p> 